

郡市医師会長プロフィール

渡島医師会

小笠原 実 先生



本年6月29日に開催された渡島医師会定時総会において、8年間にわたって会長を務められた大北健雄前会長の後任として、小笠原実先生が新会長に選出されましたのでご紹介いたします。

先生は昭和25年福島町生まれの62歳。函館中部高校を経て札幌医科大学を卒業し、第一病理大学院に進まれ、修了後、第一内科へ入局し、昭和57年からはアメリカ合衆国UCLAに留学されました。昭和60年に帰国後、市立芦別病院、函館五稜郭病院など病院勤務を経て、平成2年9月に故郷の福島町に小笠原内科消化器科クリニックを開業され、現在に至っております。その間医師会活動にも積極的に取り組み、前任の大北健雄前会長のサポート役として、平成17年から8年間副会長を務められました。

趣味は、ゴルフ・蕎麦打ち・歴史研究で、とくに歴史研究については、町の歴史研究会に入会して江戸時代の蝦夷地の医療や道南を作仏行脚したころの円空さん（円空仏）について研究されています。

渡島医師会は1市9町の広範囲におよび、地域住民の健康を守り、そして地域と一緒に歩む医師会として毎年各自自治体で市民健康講座を開催していますが、先生は個人的にも地域に密着したさまざまな活動をされています。その一つは住民の健康意識の高揚を図ることを目的として毎年開催される「健康フェスティバル」の実行委員長を務め、「いきいき健康ふくしま21」プロジェクトの推進に尽力されていること。そして胃がんのリスク検診としての「ABC検診」の福島町への導入と、胃がん撲滅に向けての若年者のピロリ菌検査などを町の保健課および北海道大学との共同で行っていることなどです。

また先生はICTを積極的に活用され、早い時期からホームページやブログで医療や趣味の情報を発信されています。

先生におかれましては、ますますご多忙になると思われますが、どうぞ健康に留意され、先生の優しいお人柄と指導力で渡島医師会を引っ張っていただきたいと期待しております。

北海道医報通信員
渡島医師会副会長 光銭 健三

根室市外三郡医師会

杉木 博幸 先生



平成25年4月より、杉木博幸先生が根室市外三郡医師会の会長に就任されましたので、ご紹介申し上げます。

先生は平成元年に日本医科大学を卒業後、北海道大学病院の循環器内科に入局されました。北海道大学大学院を修了後、道内各地の基幹病院で研修をされ、内科、循環器疾患の診療に研さんを積まれました。平成7年に現在の根室共立病院院長に就任され、現在に至ります。平成19年からは当医師会の監事に就任し、平成21年からは副会長として前会長を支え、このたび会長に就任されました。

先生は持ち前の若さで、地域医療はもとより、介護認定審査会会長や北海道警察検案嘱託医、根室振興局産業医などとして活躍されるだけでなく、社会福祉法人の理事長として障害者福祉に取り組み、また地域のロータリークラブ会長や商工会議所議員としても活躍をされています。平成23年には根室市功労章を受賞されています。

学生時代はヨット部の主将を務められ、母校を東日本医科学学生総合体育大会の初優勝に導く活躍をされたことが大きな誇りだと語っておられます。モーターボートの免許もお持ちですが、寒冷地である根室では海に出ることは控え、ゴルフや磯釣りを趣味に休日は楽しんでおられます。

根室管内は道内でも医師が非常に少ない地域で、基幹病院の常勤医師の確保の困難さや、開業医の減少・高齢化が現実のものとなっております。このような状況の中、先生は地域に根ざした医師会活動、さらなる地域医療連携を目指し、新たな医師会事業の展開に取り組んでおられます。先生の牽引力で当医師会がより結束し、連携を保つことによって、各医療機関、各医師が地域医療を十分に展開できる環境が生まれることを期待しております。

先生におかれましては、会長に就任され、ますますご多忙になることと思います。私をはじめ根室市外三郡医師会の会員一同、先生を目指す医師会活動に協力していこうと思いますので、どうぞ健康に留意されご活躍されますことを祈念いたしましてご紹介とさせていただきます。

根室市外三郡医師会
副会長 岡田 優二